

平成 20 年 4 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社さくらパートナー
 代 表 者 名 代表取締役社長 太田 勝久
 コード番号 8 5 1 4 (札幌証券取引所)
 問 合 せ 先 企 画 部 長 高 谷 則 章
 T E L 0 1 1 - 6 2 2 - 1 5 1 5

平成 20 年 3 月期通期業績予想の修正並びに営業外費用の発生のお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 19 年 11 月 16 日の中間決算発表時に公表しました平成 20 年 3 月期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）の通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。あわせて営業外費用の発生を下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 20 年 3 月期通期（平成 19 年 4 月 1 日～平成 20 年 3 月 31 日）業績予想値の修正

(単位：百万円)

| | 営業収益 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 一株あたり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|--------|--------|--------|----------------|
| 前回発表予想 (A) | 1,630 | △1,600 | △1,550 | △2,520 | △274 円 92 銭 |
| 今回修正予想 (B) | 1,659 | △2,083 | △2,292 | △3,250 | △354 円 64 銭 |
| 増減額 (B - A) | 29 | △483 | △742 | △730 | △79 円 72 銭 |
| 増減率 (%) | 1.8% | — | — | — | |
| (ご参考) 前期実績(平成19年3月期) | 2,742 | △1,009 | △974 | △2,049 | △223 円 60 銭 |

2. 営業外費用の発生及びその内容

当社が保有する投資組合出資金について、金融商品に係る会計基準に基づき、投資組合出資損失 252 百万円を営業外費用として計上いたします。

3. 業績予想の修正の理由

消費者金融業界におきましては、利息返還請求が高水準で推移する中、新貸金業法並びに平成 19 年 12 月に発足した日本貸金業協会による自主規制ルール対応の本格化など、当業界を取り巻く環境は、厳しいものとなっております。

このような経営環境の中、当社においての利息返還費用は、ほぼ計画通りに推移してきましたが直近の弁護士等の介入状況を踏まえ、利息返還損失引当金繰入額 392 百万円を営業費用として追加引当計上しております。この他、営業投資有価証券評価損 26 百万円を営業費用に計上し、この結果、業績予想を下方修正することとなりました。

(業績予想に関する留意事項)

なお、上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく見通しであり、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上